

令和7年度（2025年度）

学校要覧



滋賀県立野洲養護学校

〒520-2301 滋賀県野洲市小南588番地

電話 077-586-6850（代表）
077-586-6851（小学部直通）
077-586-6852（中学部直通）
077-586-6853（高等部直通）
077-586-6854（寄宿舎直通）

FAX 077-586-6870

ホームページ <http://www.yasu-sh.shiga-ec.ed.jp>

北桜校舎

〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978-2

電話 077-588-2523

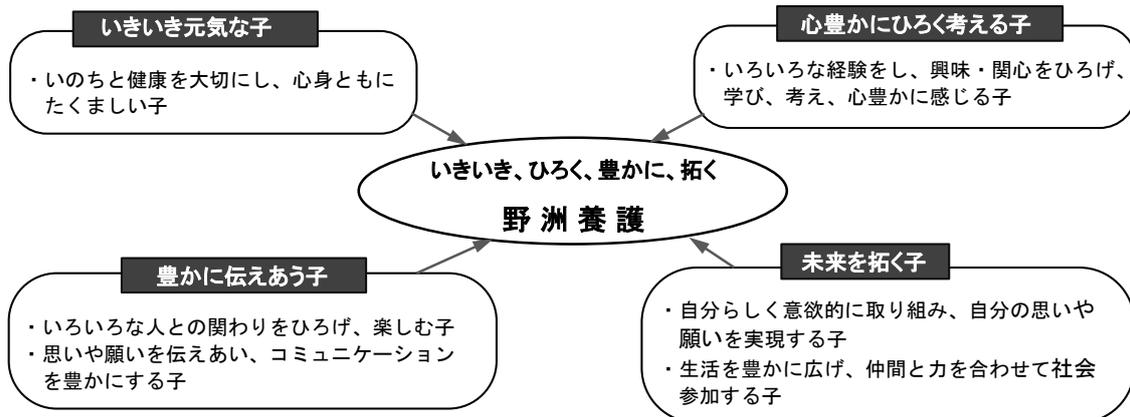
FAX 077-588-3953

沿革

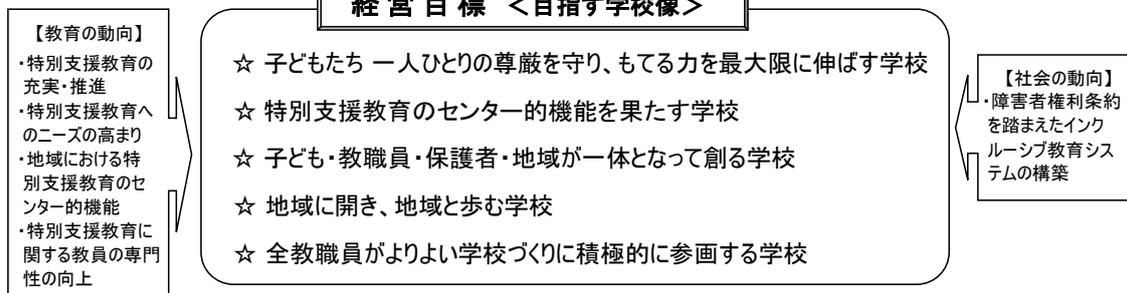
昭和 44 年 (1969 年)	4 月	滋賀県立養護学校設置
昭和 47 年 (1972 年)	4 月	高等部設置
昭和 47 年 (1972 年)	5 月	スクールバス運行開始
昭和 48 年 (1973 年)	5 月	校歌制定
昭和 49 年 (1974 年)	4 月	県立整肢園新設移転に伴い同園内学級は本校の整肢園分校、小・中学部と移管・改称
昭和 50 年 (1975 年)	4 月	滋賀県立八幡養護学校と校名変更
昭和 50 年 (1975 年)	5 月	天皇・皇后両陛下下行幸啓
昭和 51 年 (1976 年)	4 月	第 2 びわこ学園内に訪問教室設置
昭和 52 年 (1977 年)	8 月	大型リフト付きスクールバス 1 台配車
昭和 53 年 (1978 年)	3 月	第 2 びわこ学園内に校舎新築、野洲校舎設置
昭和 55 年 (1980 年)	11 月	県立小児整形外科センター開所に伴い、整肢園分校を守山分校と改称
昭和 63 年 (1989 年)	3 月	守山分校廃校
平成 8 年 (1996 年)	3 月	冷房設備工事
平成 12 年 (2000 年)	4 月	学校評議員制度開始
平成 16 年 (2004 年)	3 月	野洲校舎新築・移転 (野洲市北桜 978-2)
平成 18 年 (2006 年)	4 月	井狩義夫 第 14 代校長として就任
平成 19 年 (2007 年)	11 月	八幡養護学校閉校セレモニー挙行
平成 20 年 (2008 年)	4 月	校地を野洲市小南に移転し滋賀県立野洲養護学校と改称、野洲校舎を北桜校舎と改称
平成 21 年 (2009 年)	4 月	松橋 正実 第 15 代校長として就任
平成 22 年 (2010 年)	4 月	大型リフト付きスクールバス 1 台配車 (計 6 台)
平成 23 年 (2011 年)	4 月	河合 弘之 第 16 代校長として就任
平成 24 年 (2012 年)	4 月	校舎増築、新棟完成
平成 25 年 (2013 年)	4 月	重森 恵津子 第 17 代校長として就任
平成 26 年 (2014 年)	4 月	旧八幡養護学校跡地 (近江兄弟社小学校) に記念プレート設置
平成 28 年 (2016 年)	4 月	校舎再増築 3 階建て校舎完成
平成 30 年 (2018 年)	4 月	小島 輝彦 第 18 代校長として就任 大型スクールバス 11 台配車
平成 30 年 (2018 年)	11 月	野洲養護 10 周年記念式典挙行、10 周年公開研究会開催
令和 2 年 (2020 年)	4 月	北村 昭夫 第 19 代校長として就任
令和 4 年 (2022 年)	4 月	井尻 正志 第 20 代校長として就任
令和 6 年 (2024 年)	4 月	生駒 智昭 第 21 代校長として就任

令和7年度 滋賀県立野洲養護学校 教育概要

教育目標 <目指す子ども像>



経営目標 <目指す学校像>



学校経営の重点目標

- 1 教職員の実践力(子ども理解・授業力)の向上**
 - ・「個別の指導計画」にそった子どものもてる力を最大限に伸ばすことができる指導の実践
 - ・実践力を高めるための全校体制による子ども理解と研修内容の共有
 - ・自立活動の実践的積み上げとICT機器を生かした授業研究の推進
- 2 地域における特別支援教育のセンター的機能の推進**
 - ・実践的なセンター的機能の発揮
 - ・インクルーシブ教育システムの構築に向けて市町との適切な連携を強め、保幼小中学校等への計画的・継続的支援
 - ・副籍制度の充実
- 3 人権意識豊かで、居心地のよい学校づくり**
 - ・教職員の人権意識の向上を図り、子どもたちの自尊感情を高め、自己実現を図る指導を通して、子どもたちの人権を尊重する学校経営・運営の推進
 - ・現在ある組織を十分に活用し、課題解決の具体的な方向性の提示および課題解決
 - ・日々の教育活動を基本に、日常的な関わりや行事等を通じた保護者との協働
- 4 信頼される安全・安心な学校づくり**
 - ・学校運営協議会の充実と、情報発信や行事等を通して地域との結びつき深め、地域とともにすすめる学校づくり
 - ・防災危機管理委員会において、防災計画、訓練、事故対応等への教職員の危機管理意識の高揚を図り、地域と共に組織的な危機対応の推進
 - ・教職員間の情報等の共有と管理職への迅速で正確な報告とその対応
 - ・感染症予防を含めた健康安全のための取組の継続
- 5 学校課題の解決に向けた取組**
 - ・教員の資質向上と適切な業務分担および働き方改革の推進
 - ・本校の将来構想案について県との協議の推進
 - ・備品・設備の充実
 - ・分離新設校設置に向けて県への協力と提案

1. 本校の教育課程について

- ・本校は知的障害と肢体不自由を併置した特別支援学校である。
基本的には障害種別で分けず、大きくは発達をベースとする「グループ」別に教育課程を構成している。
- ・子どもの中心的な教育課題に沿って、6つの発達段階と1つの暦年齢相当（準ずる教育・肢体単一）で構成する「グループ」を設定する。
- ・子どもの中心的な教育課題は、「発達」「障害」「生活」を丸ごととらえる中で、様々な能力の課題を踏まえつつ、5つの観点（①健康 ②身体 ③認識 ④コミュニケーション ⑤集団・社会性・自己形成）を軸にしながら課題設定をしている。一人ひとりの子どもに対し、表面的な言動や発達検査の結果だけでなく、発達の要求や課題、ニーズに応じた中心的な教育課題を設定し、それらを基に適切な教育課程の編成や集団編成をおこなっている。
- ・集団編成（クラス編成）は、子どもたちそれぞれの中心的な教育課題に応じた「グループ」の枠内で、学部ごとに行っている。ただし、人数やその他の条件によってはグループを越え、集団や友だちとの関係、障害や動き、生活年齢等も考慮しながら、一人ひとりの教育課題に即した集団編成を組んでいく。
- ・12年間の学びの連続性や多様な学びの場を重視しながら、教育目標、教科領域、教育内容など「グループ」を基本にしながら教育課程を設定していく。

2. 「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて

- ・特別支援学校学習指導要領等では、理念として以下の4点が示されている。
 - ①社会に開かれた教育課程の実現
 - ②育成を目指す資質・能力の明確化（知識・技能／思考力・判断力・表現力等／学びに向かう力・人間性等）
 - ③主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
 - ④各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立
- ・本校においても、学習指導要領に基づいて、12年間の「学び」の連続性を重視し、それぞれの発達段階の特徴、発達段階ごとの共通性と生活年齢から生じる相違性やそれぞれの段階で大切にしたい視点を考慮した本校の教育課程、教育内容等の見直し、検討、編成等の作業をしていきます。

3. 各学部の時間割

(1) 小学部

低学年肢体（例）

	月	火	水	木	金
9:00	日常生活の指導(検温・水分摂取・排泄等)				
9:45	日常生活の指導(朝の会)				
10:30	自立活動				
11:15	※『せいかつあそび』『みる・きく』『うた・りずむ』『ふれる・えがく』『からだ』				
12:00	給食・昼休み				
13:40	じゆうあそび	日常生活の指導 (水分補給・排泄・帰りの会等)		じゆうあそび	
14:20	日常生活の指導 (水分摂取・排泄・帰りの会等)		(下校14:25)	日常生活の指導 (水分摂取・排泄・帰りの会等)	
15:10	(下校15:10)	(下校15:10)		(下校15:10)	(下校15:10)

※これらの取り組みは日替わりではなく、年間で配列します。継続して取り組むことで、見通しや期待感を持って活動にむかえる工夫をしています。
※高学年部では5限は「つどい」に取り組みます。

低学年知的（例）

	月	火	水	木	金
9:00	日常生活の指導(荷物の整理・着替え・排泄等)				
10:00	日常生活の指導(朝の会)				
10:30	あさのうんどう				
11:00	『さんぽ』	※『せいかつあそび』『ふれる・えがく・つくる』『からだあそび』『ふれあいあそび』『うた・りずむ』『おはなしあそび』の6つの領域に年間を通じて取り組む			
12:00	給食・昼休み				
13:40	『午後あそび』 じゆうあそび	『午後あそび』 みる・きく	日常生活の指導 (着替え・排泄・帰りの会等)	『午後あそび』 じゆうあそび	『午後あそび』 みる・きく
14:20	日常生活の指導 (着替え・排泄・帰りの会等)		(下校14:25)	日常生活の指導 (着替え・排泄・帰りの会等)	
15:10	(下校15:10)	(下校15:10)		(下校15:10)	(下校15:10)

※これらの取り組みを基本的には日替わりで配列します。年間を通じて各領域の授業時間が概ね同じになるように取り組みます。

高学年知的（例）

	月	火	水	木	金
9:00	日常生活の指導(荷物の整理・着替え・排泄等)				
10:00	日常生活の指導(朝の会)				
10:30	あさのうんどう		からだ (さんぽ)	あさのうんどう	
11:00	からだ	ふれる・えがく・つくる		みる・きく・はなす	せいかつ
12:00	給食・昼休み				
13:40	うた・りずむ	つどい	日常生活の指導 (着替え・排泄・帰りの会等)	ことば・かず	がっきゆう
14:20	日常生活の指導 (着替え・排泄・帰りの会等)		(下校14:25)	日常生活の指導 (着替え・排泄・帰りの会等)	
15:10	(下校15:10)	(下校15:10)		(下校15:10)	(下校15:10)

(2) 中学部知的（例）

	月	火	水	木	金
9:00	朝の準備	朝の準備	朝の準備	朝の準備	朝の準備
9:30	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
10:10		朝の運動	朝の運動	朝の運動	朝の運動
11:00	せいかつ	ことば・かず	保健体育 (合同)	美術	職業・家庭
12:00	給食 昼休み				
13:40	音楽	せいかつ	帰りの準備 /帰りの会	保健体育 (クラス)	学級活動
14:20	帰りの準備 /帰りの会	帰りの準備 /帰りの会	(下校14:25)	帰りの準備 /帰りの会	帰りの準備 /帰りの会
15:10	(下校15:10)	(下校15:10)		(下校15:10)	(下校15:10)

(3) 高等部

肢体（例）

	月	火	水	木	金
9:00	日常生活の指導(排泄、水分補給など)				
9:45	自立活動				
10:30	朝の会				
11:00	国語・数学	音楽	美術	生活・家庭	体育
12:00	給食 昼休み				
13:40	しごと	しごと	帰りの会	LHR	LHR
14:20	帰りの会	帰りの会	(下校14:25)	帰りの会	帰りの会
15:10	(下校15:10)	(下校15:10)		(下校15:10)	(下校15:10)

知的（例）

	月	火	水	木	金
9:00	日常生活の指導(SHR)				
9:30	朝の運動	朝の運動	総合	朝の運動	朝の運動
10:15	数学	労働	HR	労働	国語
11:00	国語		家庭		数学
12:00	給食 昼休み				
13:30	保健体育	美術	SHR	理科/社会	HR
14:20	SHR	SHR	(下校14:25)	SHR	SHR
15:10	(下校15:10)	(下校15:10)		(下校15:10)	(下校15:10)

教育相談



◎ 相談内容

- ・子どもについての心配や不安に関わる相談
- ・就学や進学に関する相談
- ・本校の施設や授業の見学と説明
- ・支援者への特別支援教育に関わる相談

◎ 「就学・進学に関する説明会」 「4歳児保護者見学会」

- ・令和7年4月25日(金) 対象：関係機関、校園指導者
- ・令和7年5月1日(木) 対象：中学3年本人・保護者(近江八幡・竜王・守山)
- ・令和7年5月8日(木) 対象：5歳児保護者(近江八幡・竜王・守山)
- ・令和7年5月9日(金) 対象：中学3年本人・保護者(野洲・栗東)
- ・令和7年5月14日(水) 対象：5歳児保護者(野洲・栗東) / 小学6年生保護者(全域)
- ・令和8年2月18日(水) 対象：4歳児保護者(近江八幡・竜王・守山)：「4歳児保護者見学会」
- ・令和8年2月26日(木) 対象：4歳児保護者(野洲・栗東)：「4歳児保護者見学会」

◎ 「体験学習」

- ・幼児児童生徒及び保護者のみなさまに本校の教育内容を知っていただくために、該当学部の授業を体験します。
- ・対象は、本校への就学や進学を検討している令和7年4月現在、5歳児、小学6年生、中学3年生です。
また、転入予定者も、体験学習をおこないます。
- ・できるだけ事前に「4歳児保護者見学会」か「就学・進学に関する説明会」に参加して下さい。(転入予定者は不要)
- ・各学部ともに、5月中旬から申し込みを受け付けます。日程調整の上、9月下旬まで実施します。(夏季休業中はできません)
- ・申し込みは、「在籍校園」➡「市町教育委員会」を通して「メール」にて教育相談担当者までお申し込みください。
- ・小学部(月曜日・水曜日・金曜日) 中学部(火曜日・金曜日) 高等部(火曜日・木曜日) 午前中に実施します。

◎ 連絡先

滋賀県立野洲養護学校 教育相談担当 *校園所の先生を通じて、15:30以降にご連絡ください。

進路指導

◎ 「本校の進路指導について」

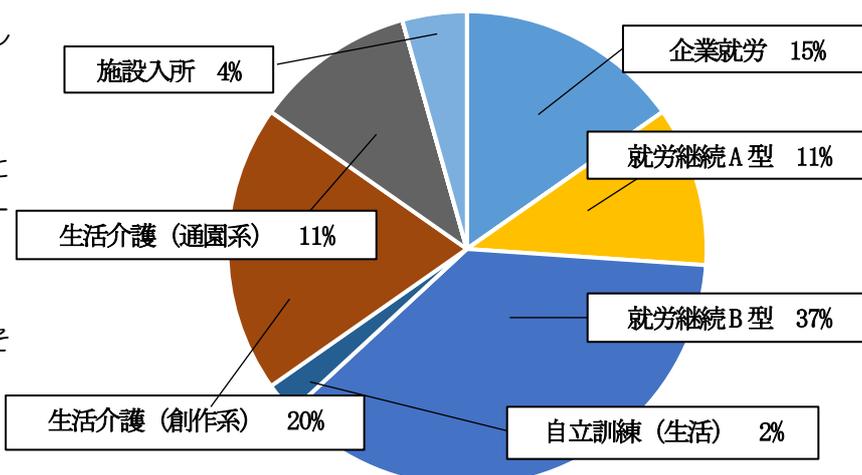
- ・進路指導は、子どもたちが自立を目指し、卒業後も地域社会の一員として活動し、豊かで生き生きとした生活を送れるようにするための取り組みであると考えています。
- ・そのためには、子どもたちの特性や課題を十分に把握し、その成長を最大限保証する中で個に応じた進路学習を行い、自立に向けた力を育てることを大切にしています。

	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	合計
企業就労	2	0	2	2	7	13
職業訓練関係	0	0	1	0	0	1
就労移行支援	3	2	0	1	0	6
就労継続A・社会的事業所	0	1	4	3	5	13
就労継続B	10	13	15	16	17	71
自立訓練(機能)	0	0	0	0	0	0
自立訓練(生活)	0	2	2	1	1	6
生活介護(創作系タイプ)	8	15	12	13	9	57
生活介護(通園タイプ)	3	3	2	1	5	14
進学	0	0	0	1	0	1
その他	1	0	1	0	0	2
未確定	3	2	0	1	0	6
施設入所支援	0	0	1	0	2	3
合計	30	38	40	39	46	193

◎ 「各学部における進路指導の取り組み」

- ・**小学部**
学習と遊び、生活の組み立てを通して、楽しい生活を送るための基盤をつくる
- ・**中学部**
思春期による変化に対応しながら、支援者との適度な距離感を持ち、生活やコミュニケーションの幅を広げていく
- ・**高等部**
卒業後の進路先や生活全般を考えながら、それぞれの自立に向けた取り組みを進めていく

令和6年度 事業形態別比率(進路先)



児童生徒数等

令和7年4月8日時点

学部	学年	本校		北桜		訪問		合計	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学部	1	19	15					19	15
	2	22	7					22	7
	3	24	6					24	6
	4	26	8					26	8
	5	20	12					20	12
	6	18	10					18	10
	計		129	58	0	0	0	0	129
中学部	1	18	13					18	13
	2	25	8					25	8
	3	24	13					24	13
	計		67	34	0	0	0	0	67
高等部	1	28	20					28	20
	2	31	22					31	22
	3	35	16		1		1	35	18
	計		94	58	0	1	0	1	94
合計		290	150	0	1	0	1	290	152

障害種別

学部	知的	肢体
小	159	28
中	81	20
高	136	18
合計	376	66

通学の方法	小学部	中学部	高等部	総計
スクールバス	172	90	123	385
送迎	15	10	8	33
自主通学	0	1	19	20
寄宿舎	0	0	2	2
病院	0	0	0	0
施設	0	0	1	1
訪問	0	0	1	1
合計	187	101	154	442

市町別児童生徒数

	野洲	守山	栗東	近江八幡	竜王	他市町	合計
小学部	34	50	48	50	5	0	187
中学部	12	31	21	33	4	0	101
高等部	34	50	17	48	4	1	154
市町別総計	80	131	86	131	13	1	442

職員構成

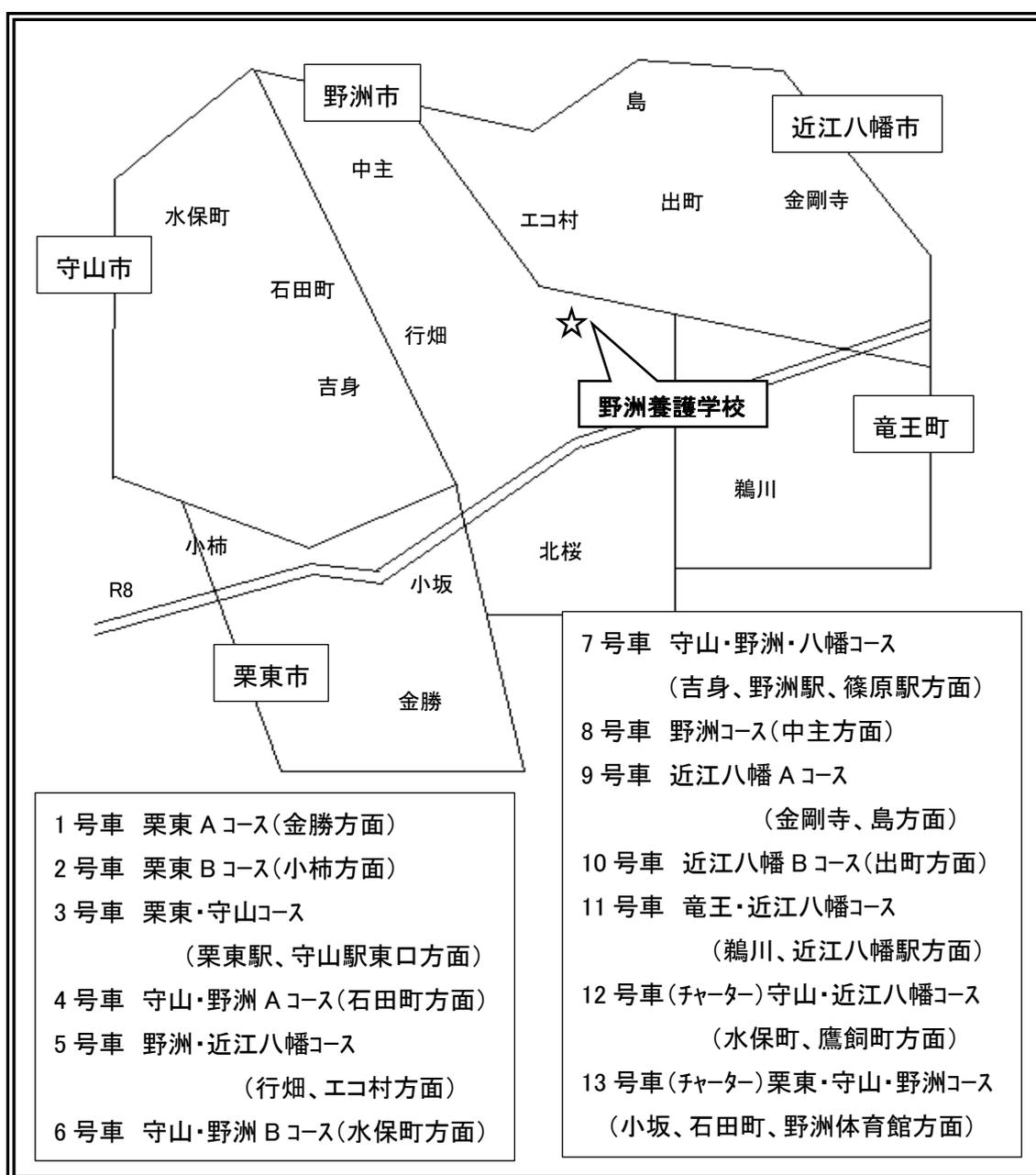
職名	校長	副校長	教頭	事務長	主幹教諭	教諭 実習 講師 助手	養護教諭	指導員 寄宿舎	栄養教諭 事務員	業務員	調理関係	看護師	生活 介助員 教員 業務 支援員	非常勤 その他	校医等	合計
男	1	1	1	1		70		4	3	2				5	6	94
女			1			126	4	4	3	2	13	15	17	14		199
計	1	1	2	1		196	4	8	6	4	13	15	17	19	6	293

令和7年度 野洲養護学校スクールバス運行経路

本校には、保護者送迎・スクールバス・自主通学の3つの通学方法があります。(寄宿舎を除く)中でも児童・生徒の9割近くがスクールバスを利用して通学しています。

スクールバスの運行経路やバス停については、乗車希望者や道路状況、バス停の状況の変化などにより毎年検討し、必要に応じて見直しを行います。

長時間の乗車は児童・生徒の負担に繋がります。児童・生徒の増加や運行経路の複雑化などにより、すべてが当てはまるわけではありませんが、乗車時間については、原則90分を越えないように運行計画を作成しています。



野洲養護学校 校歌

編曲：中島嘉治

作詞・作曲：市川慶二

か ざす て そ め て ま な び や
の あ さ は や ま か ら よ び か け
る ひ かり の こ ら - よ て を つ な
ぎ だ い ち ゆ た か に ふ み た と
う め ぎ そ う よ き ぼ う の
お か を め ぎ そ う よ

1. かざす手染めて 学び舎の 朝は山から 呼びかける
光の子らよ 手をつなぎ 大地ゆたかに 踏み立とう
2. そろう足どり 学び舎の 夕かげ長く 野に踊る
風の子どもよ 寄り添って 歌声軽く 歩こうよ
3. はずます胸に 学び舎の 心の広場 ふくらむよ学
びのなかま 肩たたき 希望の丘を目指そうよ希望
の丘を 目指そうよ

